

●川と暮らしにまつわる歴史を活かす

【桜佐のヨゲと霞堤／水屋／正徳橋下流右岸の川湊跡／「万場の渡」などの渡し跡／三階橋付近の樋門／人造石工法／庄内用水の通年通水など】

●川周辺の歴史・文化ポイントと川をつなぐ

【美濃路、佐屋街道、旧鎌倉街道、岩倉街道、下街道など旧街道／歴史的街並み／神社仏閣・史跡／中流部から上流部に分布する古墳群など】

●ビューポイントを川の名所として活かす

【金城埠頭から見た導流堤／明徳橋下流のヨシ原／シソ畑／万場大橋緑地から見た川の風景／ふれあい橋から見た風景／大留から桜佐、勝川橋にかけてのダイナミックな川の景観／東谷山から見た川の風景／鹿乗橋上流玉野溪谷／虎溪山永保寺周辺／白狐温泉周辺など】



河口部ヨシ原



中流部河原のある風景／大留橋上流



白狐温泉の溪谷

提案1 ビューポイント（見晴らしのいい場所）を、川の見所として整備する

【趣旨】

土岐川庄内川を豊かな環境として再生していくためには、多くの市民に土岐川庄内川の魅力を知ってもらうことがその第1歩となる。土岐川庄内川には、ビューポイントがたくさん存在する。そうした場所を市民参加でリストアップし、土岐川庄内川の見所として保全し整備する。河川整備に当たっては、見所（見る場所、見える風景）への配慮が必要である。



万場大橋下流からの風景

【考えられる取り組み】

- 川の見所には、「土岐川庄内川見所標」（見所マーク）をたてる
- 河道の幅などに余裕がある場所には、堤防を広くしたミニ広場（川の一里塚）を整備したい
- ミニ広場にはくつろいで眺められるように木陰やベンチを設置し水辺におりられるようにするとよい
- 視点場（眺める場所）の整備だけでなく、視点場から見える風景を保全する：河川整備に当たっては対岸からの眺めも考慮するなど
- 「土岐川庄内川見所ガイドマップ」をつくる

【活用・展開イメージ】

- 「川の風景」の定点観測場、生き物や水質の定点観測場、ゴミ掃除（アドプト事業）の重点区域、イベント会場など、「定点場」としての多様な活用展開が見込まれる
- 河川環境を風景という視点から評価するポイントとして活用できる
- 風景の変化をデーターとして蓄積し、河川整備に活かす

*アドプト事業は1985年にアメリカのテキサス州道路局が高速道路の周辺のごみ清掃を沿線住民に依頼した「アドプト・ア・ハイウェイ」が起源で、住民団体や企業が道路の一区間を行政に代わって清掃する仕組み。清掃活動をしている場所には管理している団体等の名前を記した看板が立てられる。庄内川を含めいくつかの河川でこの事業が取り組まれている。

提案2 旧街道との結節点や川と道が交差する橋詰めに「川の一里塚」など小広場を整備する

【趣旨】

川と交差する旧街道は、周辺の歴史的資源と結びついており、旧街道と川との結節点を中心として周辺の歴史資源と結ぶルートを設定すると川からまち（歴史）、まちから川へという人の動きをつくることができる。旧街道に限らず、橋は川と人・まちとの接点であり、橋詰めの堤防を広くして「川の一里塚」など小広場を設けることが望ましい。橋の周りの堤防を広いものにしておくことは防災面でも有効であると考えられ、そこから川やまちへアクセスする入り口ともなりうる。また、橋詰め広場ができることにより、川を眺めるビューポイントとしての機能が充実する。



枇杷島橋の袂に建っている美濃路道標

【課題】

- 既存の橋詰めや堤防敷地にはスペース的な余裕がない
- 道路管理者や自治体、地権者等の理解と協力が必要

【河川整備の課題】

- 橋詰め広場を整備することを河川整備計画の目標に掲げ、橋の架け替え時に道路管理者や周辺の関係者などの協力を得るなどして、少しずつ実現させることが考えられる。
*現在架け替え中の一色大橋（平成20年完成予定）や今後予定されている枇杷島橋の架け替えなどで可能性を検討できないか。
- 橋詰から川へのアクセスや水防活動、災害時の物資（海上輸送）の荷揚げ場など、多様な活用が見込まれる。

提案3 川の魅力と歴史資源ガイドマップを作成する

【趣旨】

市民意見交換会での情報交換や現地見学でも、相当数のビューポイントや魅力的な歴史資源がリストアップされている。こうした魅力資源発見の取り組みを全域に広げ、市民参加でガイドマップづくりを行う。その参加プロセス自体が、市民の川への関心を高め、ウォーキンググループや川守グループ、ガイド役などの発生など、具体的なアクションにつながると思われる。

【考えられる取り組み】

- 川の魅力資源や歴史資源発見行動を行い、ガイドマップを作成する
- 川と周辺を回遊するルートを考案する
- 史跡には説明板、要所に周辺の歴史資源などの案内板を設置するとよい
- ボランティアガイドによる説明や案内があるとよい
- 流域の自治体と協力してまちの歴史を案内するボランティアガイド養成をすることが考えられる
- 歴史ポイントを通して川を見ることができるよう情報をもとめる
街道／渡船場／寺社（式内社）／古墳／水害史／尾張名所図絵／ヨゲ堤／伏流水（酒造）／祭り